

生徒主体の決まりの見直し！

12月14日の佐賀新聞に、岐阜県の公立高校で、生徒の自主性を尊重し、校則の見直しの議論を始めた学校があり、時代に合った校則のあり方についての記事がありました。この高校は12月10日のNHKでも取り上げられていました。



啓成中学校でも、11月末に、女子生徒の中から「冬の防寒としてタイツを履くのですが、その上から靴下をはくのはおかしい。どうにかしてほしい。」という意見が生徒会に届き、すぐに生徒会本部が女子生徒対象にアンケートを取り、その結果を踏まえ、生徒会本部がプレゼンテーションをしに私のところまで来ました。今までも女子の防寒として「ストッキング＝肌色、または黒色のタイツを着用する。」と「きまり」がありましたが、生徒たちの意見を尊重して、今までの決まりを「冬季は、黒色のタイツを着用してもよい。その時は靴下を履かないものとする。またタイツを履かない場合は靴下を履く。」と変更しました。

新聞やテレビで報道されたことが、まさしく本校でも、生徒会を中心に、主体的に建設的に行えました。

「ブラック校則」とも言われていますが、決まりがなければ、社会は成り立たないと思います。時代のニーズに合わせルールや決まりは変わっていくものでしょう。それを生徒たちが自ら声を上げ、正々堂々と理論的に変えていければ素敵だと思います。これからも生徒たちの声や要望をしっかりキャッチしていきたいと思っています。

地域からのありがたい「お言葉」！

先日、地域の方から学校にお電話があり「ケーブルテレビで見てるけど、啓成中学校の駅伝部、よう頑張ってるね～！最近、子どもたちもよく挨拶してくれるし、気持ちんよかです。」と温かいお言葉をいただきました。また、地域の会合で「校長先生、学校だより、いつも読んどるばい！ばってん字の細かもんね。」と言われました。

さっそく今回号から12ポイントとちょっと大きくしてみました。いかがですか？

地域の方々も学校の活躍に関心を持っていただいていることを痛感し、より一層、学校のために力を注がなければと強く思いました。地域に根差した学校、まさしく「共生社会」であり、「共生の啓成」の実現です。

Imari Lein 交通安全運動！

12/11(水)に冬の交通安全県民運動のスタートに合わせて、市役所、警察、地区の交対協、伊小、啓中、伊万里実業が協力して、啓成郵便局の前の国道で交通安全運動を行いました。

ながら運転やあおり運転の厳罰化が進む今、いまだに交通事故や飲酒運転はなくなりません。大人が子どもたちに、堂々と、ものが言えるように、まずは安全運転を心掛け、交通事故を起こさないようにしていきたいものです。



2学期が終わり、よい年を迎えよう！

早いもので令和元年が終わります。今年の漢字はやっぱり「令」でしたね。5月から令和が始まり、様々な活動を子どもたちと一緒にやってきました。特に2学期は子どもたちの活躍がめざましく、駅伝や英語暗唱、テカピカ運動、竹あかりコンサート、スクールチャレンジショップなどケーブルテレビにもたくさん取り上げてもらいました。

また、生徒会も新しい生徒会長が決まり、新しい体制に繋がっています。来年も「共生の啓成」を合言葉に、思いは一つ「ONE TEAM」で頑張っていきます。

平成に生まれ令和を生きる子どもたちのように、我が啓成中学校も令和という新しい時代に、子どもたちと共に、いろんなものを創り上げたいと思います。

みなさま、よいお年をお迎えください。

